

独立監査人の監査報告書

平成23年5月26日

学校法人 高千穂学園
理事会 御中

東陽監査法人

指定社員 公認会計士
業務執行社員

吉田正史 

指定社員 公認会計士
業務執行社員

佐山正則 

当監査法人は、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和51年7月13日付け文部省告示第135号に基づき、学校法人高千穂学園の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）について監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人高千穂学園の平成23年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

平成23年5月12日

学校法人高千穂学園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人高千穂学園

監 事 井 上 修 

監 事 喜 原 保 彦 

私たちは、学校法人高千穂学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて、学園の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書 消費収支計算書 貸借対照表並びに附属明細表）及び、法人の業務執行状況について監査いたしました。

私たちは、監査に当たり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認められた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果、私たちは、上記の計算書類は、学校法人会計基準（文部省令18号）に準拠しており、学校法人高千穂学園の平成23年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を、適正に表示しているものと認めました。

また、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する事実を認めないことを確認いたしました。

以上のとおり、報告いたします。

以上